

2021年度事業計画に関するご意見・ご質問、回答

1	質問 意見	I 重点事業のうち、1. (1) ①「事業所における感染防止対策への支援」および2. (1) ①「(新)街づくり計画の実証事業」について、より具体的な実施内容と予算規模を示してほしい。
	回答	<p>1-(1)-①「事業所における感染防止対策への支援」</p> <p>会議開始間際での訂正となりましたが、「事業所における感染防止対策への支援」として項目付けに関しては、取り下げといたしました。</p> <p>その理由は、直前に開催された正副会頭会議において、この提案内容に関して苫小牧商工会議所としては、これまでの地域の感染症防止という守りの段階から、今後は新型コロナ感染症パンデミックのなかで、どのように地域の経済活動を活発化し、ウィズ・コロナ、アフター・コロナにフォーカスを当てて進めて行こうということになったことによります。</p> <p>今のところ、具体的な施策や事業計画は示すことができませんが、国や北海道、苫小牧市との政策の連携も含め、練り上げていく予定です。</p> <p>2-(1)-①「街づくり計画の実証事業」</p> <p>「街づくり計画の実証事業」に関しては、予算規模に関しては一般会計の事業費中、商工振興費のなかに包含しています。</p> <p>実際の事業費に関しては、現在、苫小牧市が進めている「苫小牧都市再生コンセプトプラン」の目的として挙げられている「①ものづくり産業のさらなる発展」、「②臨海ゾーンにおけるロジスティクスの展開」、「③臨空ゾーンにおける国際リゾートの展開」に関する各種具体的な政策立案を官民連携体制のなかで仕上げていく予定です。</p> <p>また、今後の取り組みプランについても、先の3月15日のシンポジウムにおいて語られたかなり幅広いものが提示されています。今後、関係する機関での議論や検討を経て、具体的な内容が見えてきた段階で、事業内容や予算規模等をお示ししていきたいと考えています。</p>
2	質問 意見	(質問1と)同様に、その他の事業の中で、ある程度の支出を伴う新規事業については、予算規模を明示してほしい。
	回答	これまで各事業における予算規模に関しましては、明示しておりませんでした。ご提案のとおり、今後、具体的な事業内容を含め予算額に関しましても、新規事業を含めその年度の目玉となるような臨時事業などについて、表示するよう努めてまいります。
3	質問 意見	新型コロナの影響で、従来とは活動のスタイルを変えたもの、また、今後変えていくものもあると思います。そうした内容も説明いただけると良いかと思います。
	回答	<p>まずは、停滞なき商工会議所活動に重点を置いていきたいと考えています。昨年は部会活動や委員会活動など会議については、感染防止に細心の注意を払って実施したものの、開催回数の縮減とともに視察の中止など極めて慎重な対応を取らざるを得ませんでした。また、セミナーや講演会などについても、感染状況をふまえて、新年交流会などの事業展開も中止とさせていただきました。</p> <p>今後は、会議等においてオンラインやハイブリットでの開催によるほか、様々な手段を使っただけの活動が日常になりつつあります。このようなことから、事務局としては予算規模も考慮しながら、商工会議所活動に支障を及ぼさないよう、可能な方法を使って対応に勤めていきたいと考えています。</p>

4	質問 意見	[P.3] 2. (1) ②「各種実務担当者養成研修の実施」について、マネジメントセミナーは実施しないのか。
	回答	今年度、中小企業大学校旭川校サテライトゼミを商工会議所としても後援し実施いたしました。コロナ禍の影響もあり申込は振るいませんでした。 企業向け研修については、随時関心の高い分野を中心に実施してまいります。
5	質問 意見	[P.8] 1. (2) ①「経済センター貸会議室」について、6階大ホールへのエアコン設置を進めるべき。人口17万都市の貸会議室でエアコンがないのは恥ずかしい。
	回答	6階大ホールへのエアコンの設置につきましては、以前からご意見をいただいております。去る3月4日に開催しました経済センター運営委員会で協議しております。委員会の中では、大ホールの稼働状況を鑑みて大型の設備投資は必要なく、また、夏場の暑い時期も限られていることを理由に設置はしない方向でまとまっております。

2021年度収支予算書に関するご意見・ご質問、回答

1	質問 意見	前年度予算額との比較増減となっておりますが、新型コロナの影響により、活動形態を変更したのも多々あると思います。前年度予算はその変更を反映済みのものでしょうか。もし、従来ベースの予算額であるなら、本年度予算では変動が発生すると思います。前提条件等を示してほしい。
2	質問 意見	弊社（恐らく一般企業）では、1年前に編成した実態を反映していない予算ではなく、実績見込をベースに予算を編成します。前年予算をベースとする理由を教えてください。
1.2	回答	<p>上記に関し、まとめて回答いたします。</p> <p>予算比較に関しては、日本における商工会議所は、共通の会計指針に基づいて調製しています。</p> <p>予算に関しては当初予算を計上した後、実勢に合わせてながら補正予算など内容の組み替えを行っていません。よって、前年度との予算比較は、説明をしないとその実態が分かり辛い可能性があります。</p> <p>一方、新年度の予算編成に関しては、決算見込みを作成する作業を行い、予算編成をしているので、現状に合ったものになっています。そのため、当初の予算同士を比較することが、あまり意味をなさないものとなっているのが実情と考えます。同様のことが、他の商工会議所でも発生していると考えますので、これらの表示方法について検討していきたいと考えています。</p>